

急性下部消化管出血と診断された患者さんへ

当院では、より良い治療を行うための調査研究

「大規模データベース構築から明らかにする急性下部消化管出血患者の
クリニカルアウトカムの実態とその関連因子の解明：多施設共同後ろ向き
研究」
を実施しています。

「急性下部消化管出血と診断された患者さんのひとりひとりに最も適した治療方法は何か」を明らかにし、より良い治療法の選択に役立てることを目的として、全国51箇所の医療機関との共同で行っています。

これまでの診療記録を集計します。新たな質問や検査の必要はありません。

この調査では、担当者が対象となる方のカルテ（診療記録）を選び、症状や、検査の値、その後の経過等の記録を集計させていただきます。

調査の対象は、急性下部消化管出血と診断された患者さんの一部の方です。

2010年1月1日から2019年12月31日の間（過去10年間）、ALGIB（血便や暗赤色便）を来し、その治療のために入院診療を要した患者さんのうちの一部のかたを対象としています。

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

収集された資料は、個人を特定でないように処理して、東京医科大学病院 消化器内視鏡学 准教授 永田尚義のところに集められて解析されます。結果は学会等で公表しますが、必要な情報のみ統計資料として集計しますので、当院外にお名前や個人情報がでることはありません。

研究終了後、研究で収集した個人情報・個人データは、研究終了後5年まで保管する。同意の撤回がなされた場合は、その時点で廃棄する。廃棄方法は、①シュレッダー、②焼却処分、③電子データの不可逆的消去のいずれかで廃棄する。共同研究機関については当該機関の規定に沿って①-③のいずれかで廃棄するものとする。この研究全体の結果を、研究終了後に、対象者に伝える予定はありません。

ご不明な点がございましたら、下記当院担当科までお問い合わせください。

この調査にご自分の診療記録を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。

その場合は、2022年12月31日までに、当院救急科担当医にお申し出ください。

連絡先：済生会横浜市東部病院救急科・担当者名 船曳 知弘

電話 045-576-3000

内線 (PHS) 9113

住所 〒230-0012 横浜市鶴見区下末吉 3-6-1